

人間凶器 倉本成春

おそらく私が出会った格闘家、武術家の中で最も殺気に満ち溢れ、強そうなイメージのある方。まさに現代の超人として、誰もが納得する武術家が倉本師範である。倉本師範を有名にしたのは、空手家特有の試し割りだ。なにせ、倉本先生の割るものがすごい。タル木に、耐火ブロック、ヤシの実、土管まで、拳や手刀、足底で次々に破壊してしまう、まさに人間凶器。幼少の頃より、柔道、伝統空手の道場に通い、その後、拳道会の中村日出夫師範に師事。しかし、若い頃より空手に疑問を持って、倉本塾を創設。『武学』と呼ばれる250項目にわたる身体操作や『プロテクト』と呼ばれる護身術を紹介している。その武術の極意に関しては、極真空手の全日本王者・数見肇など他流派の空手家も師事することが多い。巣鴨にある倉本塾に行くと、よく「えっ? こんな格闘家も習いに来るの?」と驚くことが多い。また、アントニオ猪木や小川直也、佐竹雅昭、歴代横綱などとも交流があり、名前ばかりが先行している武術家ではなく、誰もが一目置く存在である。

文/谷川貞治



試し割りは単なるパフォーマンスにすぎない。
本物の強さを身につけるとはどういうことか?

全身を武器と化した超人

倉本成春

「現代の生きる超人!」
倉本成春師範、超人について語る!

取材・構成/谷川貞治 写真/小林善夫

かつて超人追求といえば、極真空手創始者・大山倍達を思い浮かべたが、現代の武道家で誰が「超人追求」のイメージかといえば、真っ先に浮かぶのが倉本成春師範である。倉本師範といえば、土管割りなど、およそ人間離れした試し割りや、隠れた実戦でのエピソードの数々が有名だが、そのたずまいは睨むだけで相手を縮み上がらせる殺気に満ち溢れている。倉本師範は果たして超人追求のロマンを持っていたのか? 自分の強さについて、どう思っているのだろうか? 話を聞いてみた。